

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調書

5-I-5

5-I-5

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり		取組項目	生涯学習への取組
	節	I. 佐渡金銀山のブランドイメージの確立		
事業(施策)名	5 公民館学習事業		事業主体	佐渡市社会教育課
	事業実施期間	H28～R4		関連団体
事業概要	【事業目的】 ○地域住民に対し、佐渡金銀山の正しい理解と関連文化・産業とのつながりを分かりやすく紹介し、佐渡金銀山に係る学習機会の拡充を図る。			
	【事業内容】 ○島内の各公民館において、佐渡学(自然・歴史・文化)や世界遺産、ジオパーク、ジオス等をテーマとした市民向け講座を開催する。			
事業計画と実績	【30年度計画】 ●生涯学習の一環として、社会教育係で実施する市民大学講座や公民館講座・活動の中で、佐渡金銀山や世界遺産に関連する講座等を計画する。			
	【30年度実績】 ●新規に相川地区公民館講座「さど金銀山物語講座」を開講した。相川の町に残る多様な芸能や文化を知り、金銀山の価値をさらに高めるべく、3回開催し、延べ48名が参加した。			
課題・今後の取組	【課題】 ■講座等で、佐渡金銀山を広く周知し魅力を伝える必要がある。			
	【今後の取組】 ■次年度、受講者の拡大に向けた演題や内容について、公民館事業の中で取り組みを進めていく。 次年度も引き続き、「さど金山物語講座」を開催する。(8月～12月・全6回予定)			
事業評価	【事業の達成度】 [a・b・c]		◇次年度以降も引き続き公民館講座で佐渡金銀山に関連する講座等を開催する。	
	【事業実施の効果】 [a・b・c]			
	【総合評価】 [A・B・C]			

- a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

- A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。